

2016年3月2日

三菱UFJニコス株式会社

三菱UFJニコス、「MARINE & WALK YOKOHAMA」に 訪日外国人向け“外貨建てカード決済サービス”を導入！

～名所「横浜赤レンガ倉庫」に隣接、3月4日開業のオープンモール型商業施設で稼働へ！～

三菱UFJニコスはこの度、三菱商事都市開発株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長 村田弘一)と提携し、同社が3月4日に開業する商業施設「MARINE & WALK YOKOHAMA(マリン アンド ウォーク ヨコハマ)」に、訪日外国人向けの外貨建てによるカード決済サービス「DCC(ダイナミック・カレンシー・コンバージョン)決済サービス」導入を決め、開業と同時に各テナントで取り扱いが開始となります。

「MARINE & WALK YOKOHAMA」は、「横浜赤レンガ倉庫」隣接の新港地区(横浜市中区)に位置する、地下1階・地上2階(一部地上5階)建て、延べ床面積1万3,486平方メートルのショッピングセンター。「海沿いの倉庫街に街路をつくる」という発想で開放感を演出し(オープンモール型)、海を眺めながら食事を楽しめるレストランやカフェ、衣料品店や雑貨店など個性豊かな25店舗が出店しています。

同社は著しく増加している訪日外国人へのサービス拡充(インバウンド施策)に注力しており、今般、同施設の各テナントに、外貨建てによるカード決済サービスの導入を決めたものです。

「DCC決済サービス」は、日本国内において海外発行カード(VisaとMasterCard®)による外貨※建てでの決済を可能とする仕組みで、当社運用のクラウド型マルチ決済システム「J-Mups(ジェイマップス)」導入加盟店で利用可能。これにより、訪日外国人は店頭で「自国通貨建て」での支払いを選べば、為替変動を心配することなく、支払い金額を確定できるものです。

※ 米ドル、韓国ウォン、豪ドル、台湾ドル、ユーロなど19通貨

当社は、東京オリンピック・パラリンピックが開催となる2020年に向け、今後も訪日外国人向けの決済サービスの環境整備に注力していきます。

<サービス概要>

1. 対象取引: 海外発行のVisa、MasterCard®カード会員によるカード決済
2. 対応通貨: 19通貨(米ドル、韓国ウォン、豪ドル、台湾ドル、ユーロ、香港ドル、シンガポール・ドル、英ポンド、タイ・バーツ、カナダ・ドル、マレーシア・リングギット、ベトナム・ドン、ロシア・ルーブル、スイス・フラン、インド・ルピー、フィリピン・ペソ、インドネシア・ルピア、スウェーデン・クローナ、UAE・ディルハム)

以上

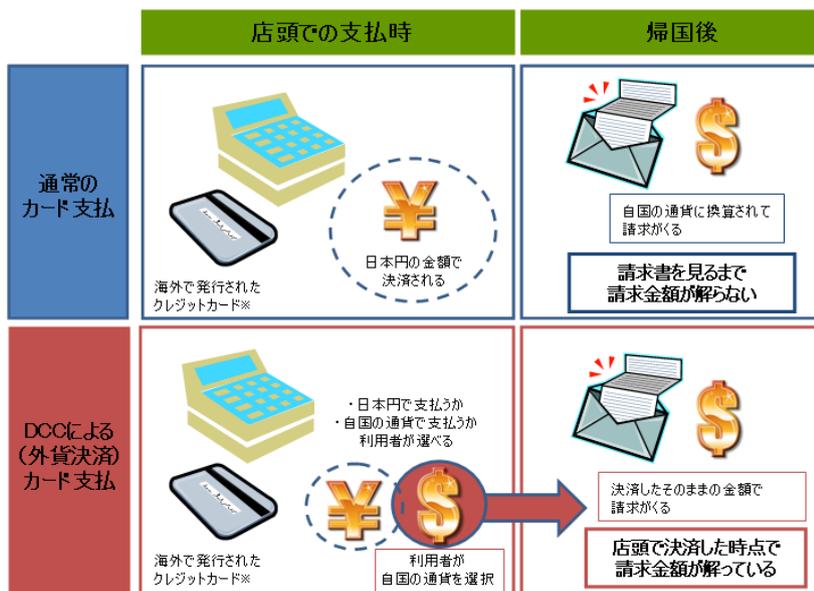
<参考資料>

■ 「MARINE & WALK YOKOHAMA」(イメージ) 公式サイト: <http://www.marineandwalk.jp/>



■ DCC決済サービス

DCC決済サービスの利用イメージ



※請求通貨がUSDのクレジットカードの例

■ 「J-Mups」の概要

クラウド型マルチ決済システム「J-Mups(ジェイマップス)」の主な特長

- (1) 拡張性: クレジットカード・銀聯カード・J-Debit(ジェイデビット)・各規格の電子マネーといった各種決済サービスに対応可能。加盟店独自のポイントプログラムやクーポン等のサービス機能も搭載できる。訪日外国人向けの「外貨建てカード決済サービス」にも対応。
- (2) 低価格: 従来端末に比べ低価格。インターネット回線を利用することで通信コストの削減も実現。
- (3) 高セキュリティ: 端末側にセンシティブ情報を残さない安全性に優れた設計。PCI-DSS準拠認定。
- (4) 高速処理: クレジットカードの処理速度が1~2秒(一般的なアナログ回線の場合10~20秒)